

令和4年度第1回豊明市放課後子ども教室運営委員会 議事録

日 時 令和5年2月17日（金）
午後3時00分から午後4時30分まで
場 所 豊明市役所新館3階教育委員会室
出席者 緒方誠子委員、榊原優委員、小田典夫委員、井上智恵子委員、山田秋男委員、
中村泰正委員、藤井和久委員
事務局 高木学校教育課長、花井課長補佐、森田担当係長
傍聴人 0人

1. あいさつ

【高木課長挨拶】

【委員自己紹介】

【会長推薦】

緒方委員を推薦

【副会長指名】

榊原委員を指名

【会長挨拶】【副会長挨拶】

2. 議題

(1) 放課後子ども教室の進捗状況について

【事務局説明】

放課後子ども教室の一体型運営、実施場所の整備、未実施校、管理運営、実施状況について説明

【質疑応答】

(質問) 放課後子ども教室の終了時間が学校ごとに違う理由はなにか。

(回答) 沓掛小学校放課後子ども教室は部活動の終了時刻と重ならないように調整した経緯がある。それぞれの学校の事情に合わせている。

(質問) 大宮小学校の専用室もほぼ完成していると思うが、教室にインターネット環境はあるか。

(回答) 学校の教室はタブレットの導入もあり、インターネット環境は整っている。

(質問) 放課後子ども教室に通っている児童にこうなってほしいという目標はあるか。

(回答) 成長段階に応じた目標がたてられればよいが、低学年の児童が多いということもあり、難しい。幅広い講座で色々な経験をし、成長につながればよい。そのためにも幅広い講座をお願いしたい。

(質問) コロナ前と比較して、栄小学校については、放課後子ども教室に登録する児童が増えた。発達度合いも考えたいが、児童クラブもいっぱい状況で、119人が登録している。放課後子ども教室の教室は普通教室より大きいが入りきらないので、2日間に分けて同じ講座を実施している。スタッフ、場所、机などのこともあり、希望する児童に同じ体験をさせてあげようとする、毎日参加したいという希望には答えられない。

(回答) 栄小学校について、水泳の授業を民間委託したためプールが不要となり、壊して施設を広げる計画がある。時間がかかることなので、児童数の伸びに追いついていない部分もあるが、徐々に解消していきたい。

(質問) 放課後子ども教室の評判はどうか。

(回答) 毎月保護者にアンケートを取っており、改善につなげている。

- (質問) 栄小学校は119人とのことだが、毎日の人数か。
- (回答) 講座を2つに分けていることもあり、だいたい毎日40人くらいである。3学期になると高学年の児童は減ってくるが、1学期は飽和状態である。講座を希望する児童は全員受け入れないといけない。低学年の児童でもできることをやっている、3年生くらいになるとつまらなくなる児童もおり、だんだんと減ってくるのが現状である。
- (質問) ホームページにボランティアについて記載があったが、どれくらいいるのか。
- (回答) 栄小学校では、フラダンスやマジックを教えに来てくれているボランティアがいる。その他にも地域のおばあちゃんたちや学生さん2名も児童と遊んだりしてくれている。
- (質問) ボランティアは本当にボランティアか。
- (回答) 本当にボランティアなので申し訳ないと思っている。
- (質問) 中学生のボランティアは受け入れているか。
- (回答) 栄放課後子ども教室では、今のところ受け入れたことはない。部活などで小学生の下校時間より遅いので、時間的に難しいのではないかと。
- (質問) 活躍や楽しみにつなげられるのではないかと。
- (回答) 今年度、実際に登録にみえた中学生がいる。
- (質問) 誰でもいいわけではないので、学校からの推薦もいいのではないかと。学校に行けない子の居場所づくりにもなるかもしれない。
- (質問) 各中学校へ案内出すことはできるのか。
- (回答) 地域に開放した事業にしていきたいという想いがあり、キャリア教育の観点からもいいと思う。今後検討していく。

(2) その他
なし

3. 放課後子ども教室現地見学

【中央小学校放課後子ども教室を見学】

委員全員で講座「ブレスレットを作ろう」を見学した。現地には委託業者の株式会社トライグループの社員もおり、各委員、委託業者や児童に質問したり話しかけたりしていた。